

講義名	地域まちづくり特別研究		
科目区分	特別研究		
担当教員	酒井 彰		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 4時限		
	2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / 2017年度 商学部 マーケティング学科 / 2017年度 商学部 経営学科 / 2016年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2016年度 人間社会学部 観光学科 / 2016年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2016年度 経済学部 経済情報学科 / 2016年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	24091

### 主題と概要

これからの地域まちづくりに向けた課題とは何かを学び、またそれらの解決方策策定のための計画手法、経済・政策分析、マネジメント手法の体系とその基本的考え方を着実に習得することを主題とする。  
 そのためにまず、経済学部における基幹・専門科目とまちづくりとの関連性について体系的な理解を深める。次に、具体的実践的な地域まちづくり事例を通して、基幹・専門科目群に関する専門知識の重要性を理解するとともに、計画手法、経済・政策分析、マネジメント手法の基礎の習得とともに、地域まちづくりと経済との関連性を総合的に学習する。

### 到達目標

地域まちづくりの実践的展開の最前線（事例）に接しながら、それらと経済学部の基幹・専門科目群との関連性および地域まちづくりのために必要な計画手法、経済・政策分析、マネジメント手法の専門基礎を体系的に理解する。『したがって、到達目標は、地域まちづくりコースを履修する学生だけでなく、すべての経済学部学生にとって、『地域まちづくりと経済との関係』（すなわち、経済学部において地域まちづくりを学ぶ意義とその専門基礎）を総合的に理解することである。

### 提出課題

まちづくりの課題、解決へ向けての提案を主旨とするレポート提出ならびに発表

### 評価の基準

レポート:70%  
 平常点（普段の態度や発言：30%）

### 履修にあたっての注意・助言他

地域まちづくり特別研究IとIIは、可能な限り両者とも履修することによって到達目標に達成しやすくなる。また、特別セミナーIとIIの履修と学びによって、地域まちづくりに関する関心と興味が高まり、基幹・専門科目をより積極的に履修することになることを期待する。

### 教科書

.とくに無し.

### プリント資料及び参考文献

自治体の人口ビジョン、地域創生総合戦略など、講義のなかで指示する。  
 R E S A S（地域経済分析システム）

### 授業計画

1. イントロダクション、専門科目で取りあげる地域まちづくりの課題
2. 地域まちづくりの目標、まちづくりの要素
3. 人口減少下における地域まちづくりにおける課題
4. ~ 5. R E S A S を用いてまちの課題を知る
6. まちづくりの課題解決へのアプローチ
7. ~ 8. 環境保全型まちづくり：目標と施策
9. 防災まちづくり
10. 都市インフラの持続可能性の確保
11. テーマ（レポートで取り上げる課題）の選定・問題の明確化
12. ~ 13. 課題解決のアプローチ・レポート作成
14. レポート内容発表
15. レポート講評と学びを深めるためのチャレンジ

### 予習・復習

関連資料の読み込み等によるまちづくりに関する課題に関する事前確認や下調べ、講義資料の事後確認に4時間程度。レポート作成には、必要な情報収集や分析を含めた予定を立て、より完成度の高いレポートを目指すとともに、発表のために、周到な準備を行う。

### 備考